



もぎたて通信

令和7年7月14日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページ www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

学校への通勤途中に、合歓の木（ねむのき）らしいの木が淡いピンク色の花を咲かせているのに気づきました。学校で注意して周りをよく見てみると、体育館の屋根の上の方に確かに合歓の木が愛らしい花を咲かせていました。夏です。

合歓の木は、夜自ら葉を閉じることから、「眠りの木」として、「ねむのき」と呼ばれるようになったそうです。しっかりと眠りの時間をもっているから、愛らしい花を咲かせることができるのでしょう。大リーグで大活躍中の大谷翔平選手が睡眠の時間を大切にしていることも有名です。私たち人間にとっても、眠りの時間はとても重要だということが分かります。

子供もしっかりと眠りの時間を確保し、次の日のエネルギーを蓄えておくことが、子供らしく活動できる原動力となります。成長に応じた睡眠時間なのか、大人の時間に子供を合わせていないか、夏休みに、今一度ご家庭でも確かめていただきたいことです。

いよいよ夏休み

7月19日からは夏休みです。夏休みは、学校生活と異なり、自分で自分の生活を整えていかなければなりません。決まった時間に、決められたことが準備されているではないからです。今年の夏休みは、44日間です。そのうち学校への登校日は、8月9日（土）の登校日のみです。長い期間、学校に行かないこととなります。

夏休み期間を利用して、次のようなことに取り組んでほしいと思います。

① 家庭の一員として、役割のある生活を過ごしてほしい。

子供にも「お手伝い」ではなく、「仕事」として任せるものをもたせてください。すでにもっているご家庭は、夏休み期間は少しレベルの高い仕事を任せてみてください。大切なことは、「任せる」こと。失敗や不十分さに責任をもせることです。

② 学校で学習したことを生活の中で生かしてほしい。

学校では教科書を中心に学習を進めますが、本質的な学習は、いつも生活の中にあります。紙面上の学習で終わることなく、学習が生活場面で「使える学び」となるためにも、夏休みは大切な期間です。「わかる」が、「できる」へと発展する夏休みを期待しています。

③ 日頃できないことに挑戦してほしい。

「長編の本を読破する」「いつも疑問だったことを解決する」「2週間かけて〇〇に取り組む」など、時間をかけて取り組むことができる夏休みです。結果や成果を求めるのではなく、挑戦することに大きな価値があります。

学校から出される夏休みの課題をしっかりと終わらせることも大切ですが、「夏休みならではの」「夏休みだからできること」を自ら計画し、やってみることも大切です。

そうした経験をした子供たちは、学校とは違った自信を身に付け、一層向上していこうと意欲を高くもつことができるようになります。

この夏休み、みんなが健康で安全に過ごすことと、ひとまわり心も身体も成長することを心から願っています。

わかな荘との交流会

7月4日（金） 3年生の子供たちが、総合的な学習の時間で、わかな荘との交流会に出かけました。わかな荘のみなさんや茂木保育園のみなさんと一緒に七夕飾りを作りながら楽しく交流させてもらいました。

願い事を書いたり、折り紙で飾りを作ったり、子供たちはとても楽しい学習の時間を過ごしました。交流しているときの子供たちの優しい表情や言動が何とも素敵でした。最後は、お礼に歌の出し物をして、喜んでいただきました。



笹竹は、わかな荘の方が準備してくださり、完成した七夕飾りは、すぐに学校へ運んでくださいました。毎年お世話になっています。本当に有難いです。

飾りは、今も玄関と階段登り口に飾ってあります。他の学年子供たちにも呼び掛けて、全学年自由に願い事を書いて飾ってあります。

たのしくあそべますように

やきゅうがじょうずになりますように
こんどのテストで100点がとれますように
おとなになったらお金もちになりますように
オムライスをいっぱいたべたい
お兄ちゃんがやさしくなりますよう
歌をじょうずにうたえますように
さかあがりがじょうずになれるように
パティシエールにしょうらいになりたいです

・・・

さて、願い事を叶えるためには、どうすればいいかな・・・



若菜川を眺めて

「どうして勉強しないといけないの？」と、子供に問われたとき、あなたはどのように答えますか？

このテーマは、昔から大人を悩ませてきたテーマの一つです。「決まっているから。」「当たり前前のことを聞かないで。」と言っても、子供は納得しませんし、いっそう不振に思うものです。

これが正解だとは思いませんが、私は、このように答えるように考えています。

「勉強は、将来あなたが生きていくうえで、できるだけ自分らしく自由に生きていくために必要なことです。だから、分からなかったり、きつかったり、辛いことも多くあるかもしれないけど、頑張って乗り越えてほしいと願っています。」

答えは、それぞれの大人が自分の経験をもとに何らかの考えをもっていて、違いがあることでしょう。ときどきは、こうした子供の問いに、自分の考えを確かめてみるのもいいのではないかと、若菜川を眺めながら、考えています。